

平成23年6月29日

堺市長 竹山 修身 様

	〒590-0133
主たる事務所の所在地	堺市南区庭代台1丁40番1号
特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人A S Uの会
ふりがな	しばた よしじ
代表者の氏名	柴 田 美 治 印
主たる事務所の電話番号	072(296)8545

事業報告書等の提出について

特定非営利活動促進法第29条第1項の規定に基づき、下記の書類を、2部 提出します。

記

1. 事業報告書
2. 財産目録
3. 貸借対照表
4. 収支計算書
5. 前年度において役員であった者の氏名及び住所・居所及び報酬の受取の有無を記載した名簿
6. 社員のうち10人以上の者の氏名(法人にあっては、その名称及び代表者氏名)及び住所・居所を記載した書面

平成22年度事業報告書

特定非営利活動法人ASUの会

I 事業期間

平成22年4月1日～平成23年3月31日

II 事業の実施と成果

NPO法人として第4期の22年度は委託事業の2事業、すなわち「環境問題に取り組むエコ倶楽部ASU」と「生きがいワーカーズの活動実施支援事業」が計画通り着実に実施できた。また、マスターズ倶楽部ASUへの支援事業も順調に拡充・運営ができた。そして、NPO法人として、堺市セカンドステージ応援団連協会の事業や堺市の関係各委員会に参加し、積極的に協働した。

(1) 「エコ倶楽部ASU(略称:ECA)」事業

平成21年度から引き続き、堺市からの委託事業として実証実験と啓発活動を行った。

この事業は前年度と同様で、「市民主導型バイオディーゼル燃料(BDF)利活用推進モデル事業」の名称で、事業内容は当会が廃食油を回収して、府大の技術でバイオディーゼル燃料を製造し、堺市のごみ収集車に燃料として提供使用するという一連の実証実験と啓発業務である。

廃食油の回収は、21年度より南区三原台(自治会)が加わり、北区百舌鳥・金岡地区の家庭油田の会が順調に拡大し、他の地域からの随時回収依頼も増え、22年度の総回収量は17,992L(前年比110%)と当初計画を超える実績となった。

BDFの製造は平成21年度末までの2年間、「堺市BDF利活用推進検討会」として、大阪府立大学と共同して「超音波による製造」の改良実証実験を重ね、日本海事検定協会での品質試験の結果、全国バイオディーゼル燃料利活用推進協議会の品質規格を全てクリアしていると確認されており、基本的には同条件で製造を行った。22年度はこれを基本として、製造の効率化に努め、総製造量は18,188L(前年比135%)に増加した。副生物(グリセリン)の活用について検討を行っているが、残念ながら十分な結果を得ていないので、焼却処分した。

堺市のごみ収集車へのBDFの提供利用は昨年度と同様4台であった。予備車を含めて、現在のBDF製造能力に見合った量である。

廃食油回収の啓発活動として、「堺市市民活動支援基金活動展」「御池台冒険山遊び」、「堺市民フェスティバル」「南区ふれあいまつり」、「南区キャンドルナイト」「プールヴーキャンドルづくり・トワイライトキャンドル」「府立大学エコころフェスタ」に参加し、「アロマキャンドル・エコキャンドルづくり」の体験参加やパネル展を実施した。

堺市は「環境モデル都市」に認定され、その推進のために「堺市環境都市推進協議会」を発足し、当会は22年度も継続して、民生部会へ参加している。

また、環境啓発と人材育成を目的とした「堺エコロジー大学」運営検討会議の委員として参加した。「堺エコロジー大学」の「エコ大パートナー」の認証を受け、エコ大連携講座の一環として「アロマキャンドルづくり講座」を堺市役所で開催した。

(2) 中間支援事業

1) 「マスターズ倶楽部ASU(略称:MCA)」の支援事業

当事業は、元気で自立的な高齢者の交流サロンをめざし、“シニアの生きがいの架け橋”をスローガンにしたMCAが支援するもので、社員が其々のサロン会場に出向き、固有の技能(パソコン、手芸、囲碁、色鉛筆画、フラダンス、お肌のケア、書道等)を活かして、利用会員に各々指導を行った。利用会員は18名の入会があり、年間利用者数は340人(前年比80%)と順調に活動を展開できた。

4年目を迎えたのを記念に8月31日、外部講師による特別講座「ひと手間で5歳若返るメイクアップ」の実技指導、会員の実演や作品発表を併催して、軽食と歓談を交え、楽しい交流会を開催した。

2) 「堺市高齢者就労的生きがいづくり活動実施支援業務」委託

21年度に引き続き公募に応募し、競争入札の結果、当事業を受託した。当事業説明会を5月と8月の2回実施し、各々、5人ずつの個別相談を行った。また説明会後に電話相談があり、6人と個別相談した。

最終的に補助金交付に至ったのは1団体であった。

6団体は23年度に相談を継続する。

III 総務事項

(1) 定例会の開催 平成22年4月～平成23年3月まで毎月開催(12回)

(2) 社員総会開催 平成22年5月27日

総会の開催記録(議事録の抜粋)

1. 日 時：平成22年5月27日(木) 午後3時30分から5時まで
2. 場 所：堺市社会福祉会館2階(堺市民活動サポートセンター2階 ミーティングルーム1)
3. 出席者数：13名(うち委任状出席者数1名)
4. 議長の選任

特定非営利活動法人ASUの会 平成22年度総会を開催するため上記のと通りの者が出席した。

議長は全員の互選により柴田美治が選ばれ、本人はこれを承諾し、午後3時30分 総会の開会を宣言し、議事に入った。

5. 議事

第1号議案 平成21年度の事業報告

議長は平成21年度の事業報告書について報告し、全員異議なくこれを承認した。

第2号議案 平成21年度決算報告

会計より平成22年3月末の貸借対照表、財産目録並びに平成20年度収支実績書の報告があった。続いて、監事より会計諸表監査の結果、適正に処理が行われていた旨の報告があり、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第3号議案 平成22年度事業計画

議長は平成22年度の事業計画書の案を示し、また、個別事業の案の説明の後、その承認を求

めたところ全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第4号議案 平成22年度予算案

会計より平成22年度収支予算書の案を示した。議長はその承認を求めたところ全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第5号議案 役員改選

議長は理事、監事の全員任期満了に伴う改選について議場に諮り、岩井日出治、上田篤子、坂本昭、柴田美治、玉井陸雄、雛本宣之、森谷佐智子の7名を理事に、稲木吉朗、野口昭子の2名を監事に選任し、全員異議無くこれを承認した。被選任者はいずれも席上その就任を承諾した。また、会員の互選により、理事長に柴田美治、副理事長に岩井日出治が選出され、両人はその就任を各々承諾した。

第6号議案 規約改訂

議長は定款第8条で定める規約について、今後広く市民の参加を受けるために備えて、改訂したい旨提案あり、審議の結果、原案通り承認し、本案は可決された。

第7号議案 定款改定

第12条3項「理事のうち、1人を理事長、1人を副理事長とする。」の定めについて、その後の経過から改訂してはとの意見があり、審議した結果、「理事のうち、1人を理事長とする。副理事長は2人とすることができる。」と改訂案とすることを全員異議なく、これを承認した

第8号議案 その他

その他議案なし。

議長は、以上をもって特定非営利活動法人ASUの会の平成22年度総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後5時)

(3)大阪法務局堺支局役員登記申請 平成22年6月8日

IV マスコミ関係、機関紙の発行、その他

今年度も引き続き下記の取材を受けた。

- 泉北コミュニティ 平成22年10月7日「廃食油を回収し、バイオ燃料に～南区で月5000も」を掲載。
- 機関紙「あすの広場」年2回(5月・11月)の発行
- 委員の委嘱
 - 「街づくり夢基金」選考委員
 - 「堺市セカンドステージ応援団運営協議会」会長兼企画委員
 - 「泉北ニュータウン学会」評議員
 - 「堺市地域福祉計画推進懇話会」委員
 - 「堺市環境都市推進協議会」委員
 - 「堺エコロジー大学」運営会議委員
 - 「南区まちづくり会議」委員

「堺市参加・協働評価方法検討ワーキング会議」委員

●出席したセミナー、研究会、フォーラムなど

- 4月
 - ・堺市「まちづくりワークショップ」
 - ・きんき環境館パートナーシップ団体登録説明会
- 6月
 - ・戦略的大学連携支援事業 生涯学習委員会～地域活動へとつなげる～
 - ・泉ヶ丘駅前地域活性化検討委員会
- 7月
 - ・街づくり夢基金助成金説明&報告会
 - ・堺市環境都市推進協議会（リーガロイヤルホテル）
- 8月
 - ・堺市環境ワークショップ
 - ・堺市「みんなの審査会」
- 9月
 - ・堺エコロジー大学 シンポジウム
- 11月
 - ・地域福祉フォーラム
 - ・低炭素都市推進協議会グリーンエコノミーWG
 - ・堺太陽光発電所一部運転開始記念シンポジウム
- 12月
 - ・堺市まちづくり市民フォーラム
- 1月
 - ・まちづくりシンポジウム（堺市都市整備公社）
 - ・関西NPOネットワーク協会
- 3月
 - ・泉北ニュータウン活性化コンペティション
 - ・第3回堺市地産地消フォーラム